

なつやすみ 1



シューズ

高浜 高浜小・一

たかはし けいと

ぼくは一年生

はじめてじぶんで

シューズをあらう

さいしよはめんどくさかった

金よう日

いっぱいよごれた

シューズをもちかえる

よるになっておふろばへ

とうとうあらうときがきた

ブラシをもって

カいっぱい

ごしごしこすった

くろかったシューズから

くろい水がながれていく

だんだん白く

きれいになっていく



いつのまにか

むちゅうになつていた

もつともつと

きれいにしたい

気がつくとき

しわしわの手

大ばあばの手みたい

さいごまでがんばった

とてもつかれたけど

あつというまでたのしかった

月よう日

きれいになった

シューズをはいた

じぶんであらったぞ

みんなにじまんしたくなった

なんだかうきうきして

学校中を

いっぱいあるいた

シューズがくろくなつていく
ぼくがまたあらってあげるね

文詩集『みかわの子』第63号より

おうちのかたへ

子どもたちが、待ちに待った夏休みになりました。

長期の休みでなければ手がけることのできない継続観察などの貴重な体験は、おうちの方々との適切な助言や心づかいによって、いっそう効果を高めることができます。

無理のない計画を立て、夏休みの過ごし方を工夫していただければ幸いです。

表紙の絵は、令和七年度「みかわ彩発見絵画コンクール（春・夏の部）」最優秀賞 西尾市立鶴城小学校一年浅井晴斗さんの作品『大好きがいっぱい！矢作川の堤防』です。

がっやちのせいか

きそくただしく すごす ために たいせつな ことについて
 おうちの ひとと はなしあいましょう。

- 1 はやおきを しましょう。 おきる じこくを かきま
 しょう。()
- 2 あさごはんを たべましょう。



- 3 ゲームや ^{げえむ}タブレットなど ^{たぶれっと}の やくそくを きめましょう。
- 4 はやく ねましょう。 ねる じこくを かきま
 しょう。()



がつ

にち

ようび

なかまづくり

1 おなじ なかまを で かこみましょう。



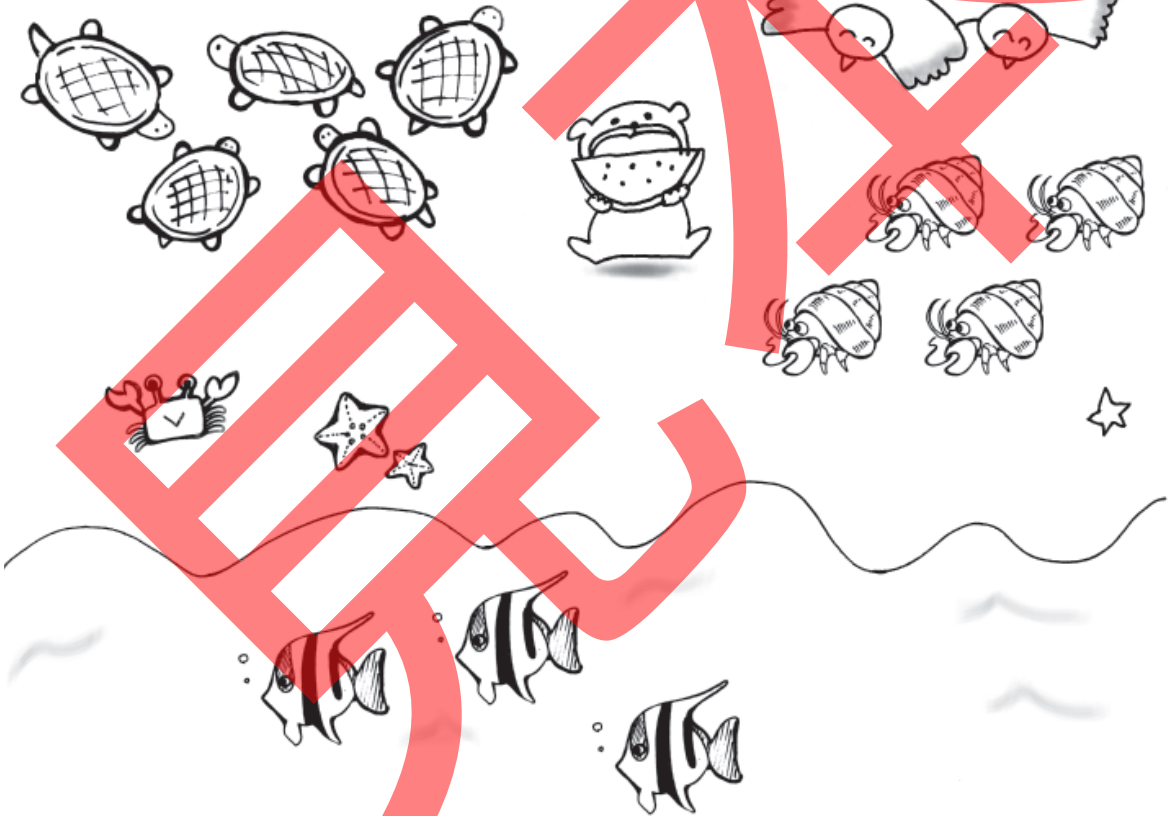
の なかま



の なかま



の なかま



2 なかまの かずを すうじで かきましょう。

(1)



ひき

(2)



ひき

(3)

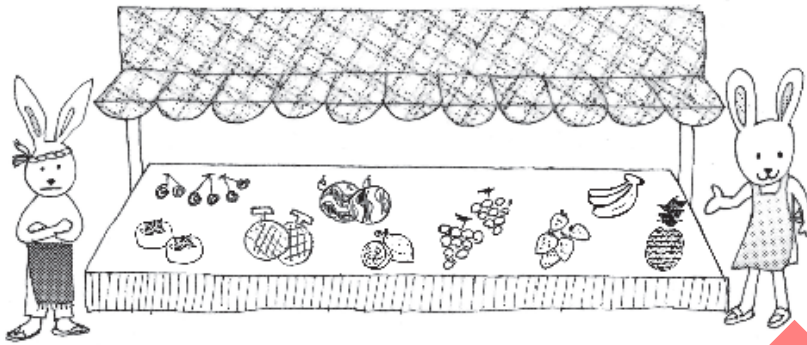


びき

がつ

にち

ようび



くだものやさんの

しなむの

くだものやさんの
しなものの
じが
きえて
しまいました。えを
みて
きえて
しまった
じを
かきましよう。

(1)

か



(2)

 $\langle$

ほ



(3)

h



(4)



(5)

ハナ



(6)



(7)

な



(8)



(9)



つ



みずあそび

みずの なかを あるいたり ういたり もぐったりして
あそんで みよう。 どんな ことが できるかな。



かおを ぽっちゃん

てで おいけを つくって、その なかに
かおを つけて みよう。



じゃんけん れっしゃ

じゃんけんを して、まけたら うしろに
ついて あるいて みよう。



ぶく ぶく ぱっ

みずの なかで いきを はいてみよう。
おおきな くちを あけ、「ぱっ」と いきを
すって みよう。



すいちゅう じゃんけん

かおを みずに つけ、みずの なかで
じゃんけんを して みよう。



だるま うき

ひざを かかえて だるまの ような
かっこうで ういて みよう。

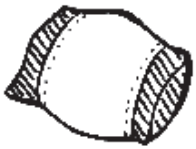
がつ

にち

ようび

(4)

ま
く
ら



ま

く
ら



(3)

ひ
と



ひ

と



(2)

ま
ち



ま

ち



(1)

ね
こ



ね

こ



ちいさい「つ」のつくじ

えをみて、
また うえの ことばに ちいさい 「つ」を
たして、ちがう ことばに へんしん させま
しょう。

がつ

にち

ようび

よんでみよう

よんだ ほんで おもしろかった
ところを えに かいて みましょう。

こんな ほんも いいですよ

○「とべバツタ」

たしま せいぞう 作・絵 (偕成社)

○「どれみふあけろけろ」

ひがし くんぺい 作・絵 (あかね書房)

○「むしの あいうえお」

いまもり みつひこ 作・絵 (童心社)

○「やさしいの おなか」

きうち かつ 作・絵 (福音館書店)



ほんの だい

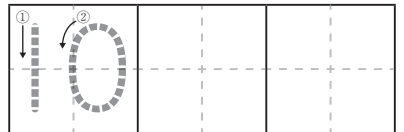
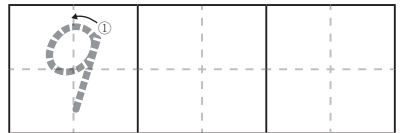
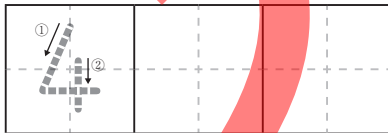
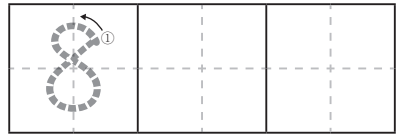
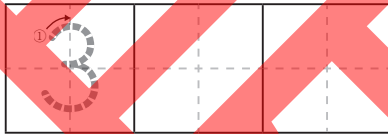
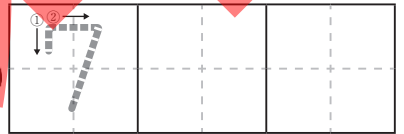
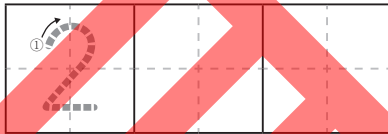
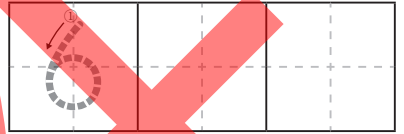
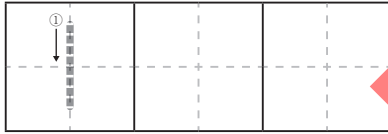
がつ

にち

ようび

すうじのおけいこ

-----で かかれた すうじを なぞりましょう。その よこに
ただし かきじゅんで その すうじを れんしゅう しま
しょう。



りゅうじんの なみだ

大府の里の うら山は、木や草が おいしげ
り、昼でも くらい山だった。

雨が ふるたびに、この山から 大水が 出
て、みんな こまっていた。

「だれか、山を 見てきてくれんかいのう。」

しょうやさんは、里の人たちに たのんだが、
こわい うら山へ 行つて 見てこようという

人は いなかった。

「しかたがない、わしらで 出かけてみますかのう。」

人の いい ごん六さと げん七さが 引きう
けて、山に のぼった。

すると、きゆうに 空が くもつて、大雨が
ふりだした。

「やっぱり だめかのう。」

「もどつたほうが ええかのう。」

その時、耳が やぶれるかと 思うほどのす

ごい音が した。

グワーン、ガーン。

二人は ひっくりかえつて、気を うしなつた。

「わしは、この 池に すむ りゅうじんじゃ。」

ゴウゴウと ふる 雨の 音に まじつて、天

に ひびく 声が する。二人は、それを ゆめ

のように 聞いた。

ピカピカ、ビシヤ。

いならずまが 光る。

「天に のぼりたいが、水が 足らん。水もれし

ているからじゃ。池を 直せ。」

びっくりぎようてん、二人は あわてて おき

上がると、とんで 里に 帰つた。

ごん六さと げん七さの 話を 聞いた しょ

うやさんは、里の人たちに 言いつけた。

「りゅうじんさまの おつけじゃぞ。山の 池を

直せ。」

里の人 みんなで、何日もかけて池を直した。

やっと池が直ったその時、大きなかみ

なりの音がした。
ゴロゴロ、ダダダーン。
ザー、ザー。

大雨がふりだした。

みるみる、池の水がいつぱいになった。

うずをまいた水が、ゴウゴウとはしらの

ようにふき上がっていった。

「あ、あれは、りゅうじんさまだ。」

「うわあつ。りゅうじんさまが天にのぼって

いかれる。」

里の人たちは、思わず手を合わせてすわ

りこんでしまった。

天に帰ることができたりゅうじんさまは、

ないてよろこんだ。

りゅうじんさまのながしたなみだが、雨の

ようにおちていった。

なみだのひとつぶひとつぶが、ぎん色に光って里におちていく。

やがて、そのなみだのひとつぶひとつぶから、めが出た。めは、ぐんぐんのびて、りっぱなモモの木になった。

くらくてこわい

うら山は、モモの木

がいつぱいの山になった。

なつた。

大府の里は、二どと

大水が出なくなった

というそうな。

(おはなし あいちのでんせつ5

『目かくしされたサル』愛知県教育振興会より)

●よみおわったら したの□に ○をかきましよう。



がつ

にち

ようび

(5)

ひ
ざ

(4)

て
ん
き

(3)

か
ら
す

(2)

は
ね

(1)

く
し





えをみて、☐のじをなぞりましょう。
またうえのことばに「ッ」や「。」を
たして、ちがうことばにへんしんさせ
ましょう。

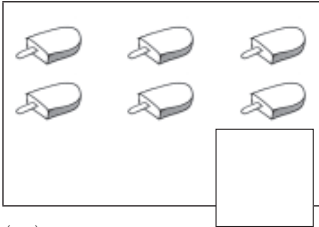
「や」「の」「ん」
①

がっ にち ようび

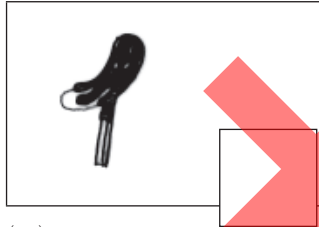
いくつあるかな

1 かずを かぞえて、□に すうじを かきましょう。

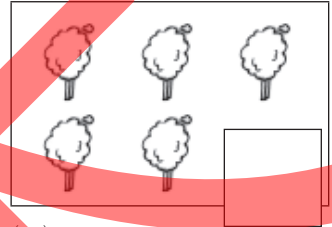
(1)



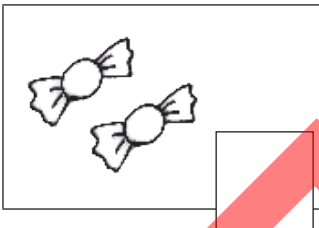
(2)



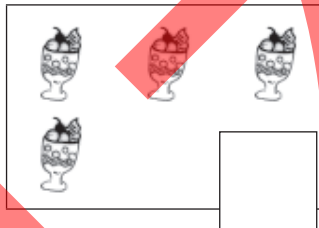
(3)



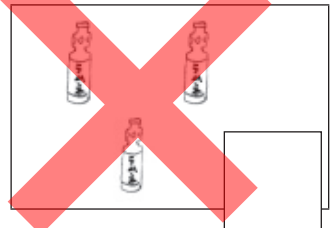
(4)



(5)



(6)



(7)



(8)



(9)



2 うえの (1)から (9)の えの なかで、つぎの ぶんにあてはまる ものは どれですか。〔 〕の なかの えを ○で かこみましょう。

(1) いちばん すくない ものは

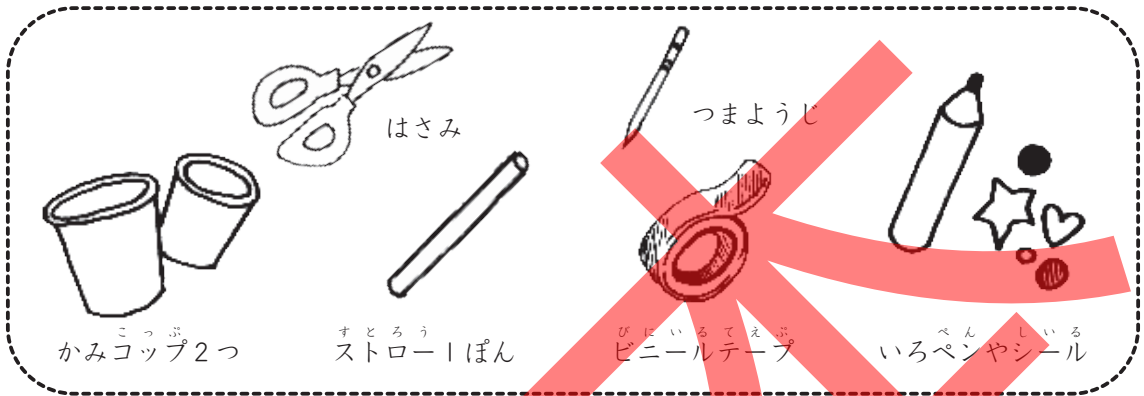


(2) いちばん おおい ものは



つくってあそぼう

かみコップで つくる クレーンゲーム



(1) 2つの かみコップの そのの まんなかに つまようじで あなを あけます。ストローが とおるくらいの あなを あけます。

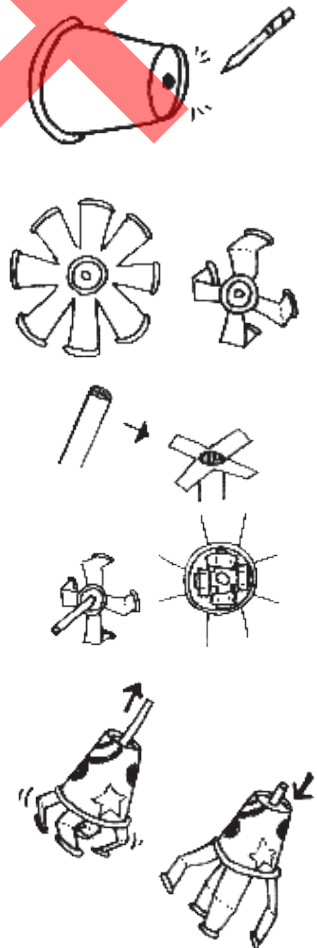
(2) 1つの かみコップに 8つの きりこみを いれます。きりこんだ 8ほんの うち 4ほん を おります。のこりの 4ほんは きって しまいます。

(3) ストローの さきに 4つの きりこみを いれます。

(4) 4ほんあしに なった かみコップに ビにいてえぶで ストローを はりつけます。

(5) ストローを つけた かみコップに もうひとつの かみコップを かぶせます。 ストローを うごかして、つかんで みましょう。

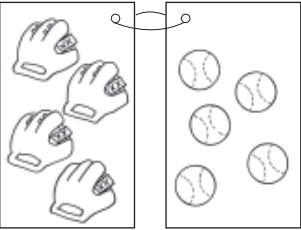
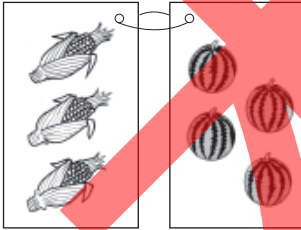
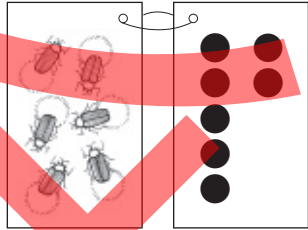
(6) いろペンや しいるを つかって、 かざりつけを しましょう。

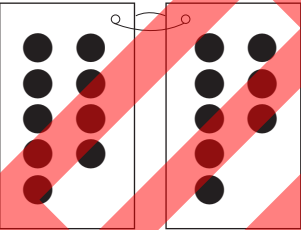
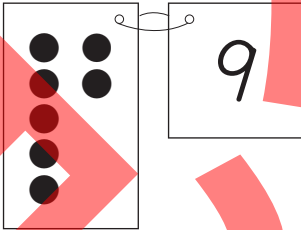
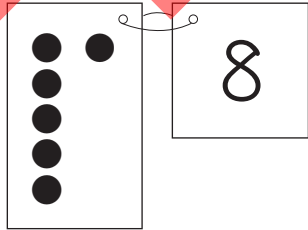


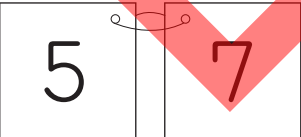
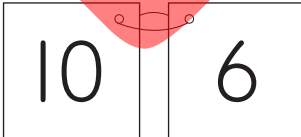
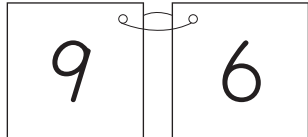
どちらがよいかな

おい ほうの () に ○を つけましょう。

○を つけた もじを したの ひょうに じゅんばんに
かくと ことばに なります。

(1)  (2)  (3) 
ね() わ() つ() く() を() わ()

(4)  (5)  (6) 
く() し() ひ() な() こ() つ()

(7)  (8)  (9) 
ほ() ま() つ() た() り() い()

○を つけた もじを じゅんばんに かくと

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

に なります。

なつを げんきに！

あつくても げんきに べんきょうしたり あそんだり していま
すか。まもれたら みぎの えに すきな いろを ぬりましょう。

	はやね はやおきを しよう はやね はやおきを して きそく ただしい せいかつを しましょう。	
	すききらい しないで たべよう あさ・ひる・よるの しよくじを しっかり とりましょう。	
	はを たいせつに しよう たべたあとや ねるまえには わす れずに はを みがきましょう。	
	からだを ひやさないように しよう えあこん エアコンの かぜが ちよくせつ あたらないように しましょう。	
	ねっちゅうしょうに きを つけよう こまめに のみものを のんで そとに でる ときは ぼうしを かぶりましょう。	

なつを げんきに すごして、ぜんぶ いろが ぬれると
よいですね。

がつ

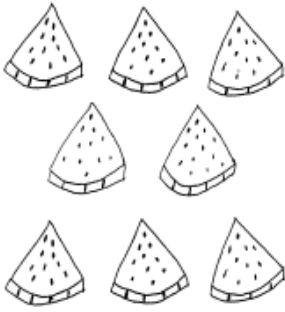
にち

ようび

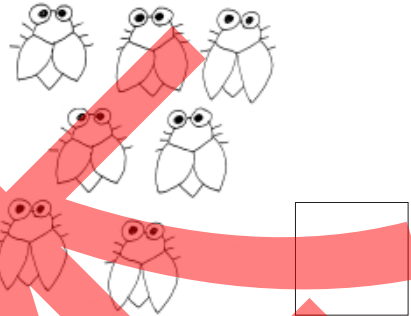


1 かずを すうじで かきましょう。

(1)



(2)



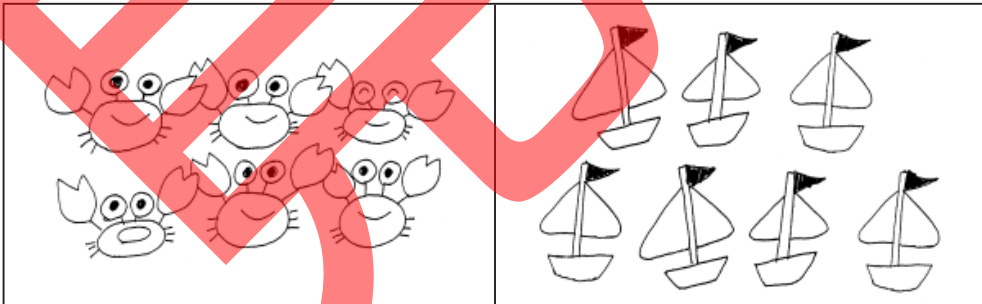
(3)



2 おおい ほうの () に ○を つけましょう。

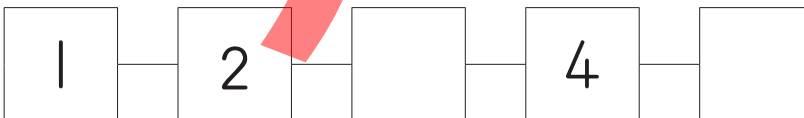
()

()

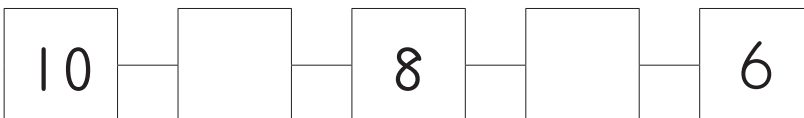


3 □に はいる かずを かきましょう。

(1)



(2)



がつ

にち

ようび



き
よ
う
り
ゆ
う

き
ゆ
う
り

ら
つ
ぱ

じ
よ
う
ろ

き
つ
て



ぎ
ゆ
う
に
ゆ
う



し
よ
つ
き



せ
つ
け
ん

ちいさい「や」ゆ「よ」「つ」

ちいさく かく じの □に いろえん
ぴつで すきな いろを ぬりましょう。

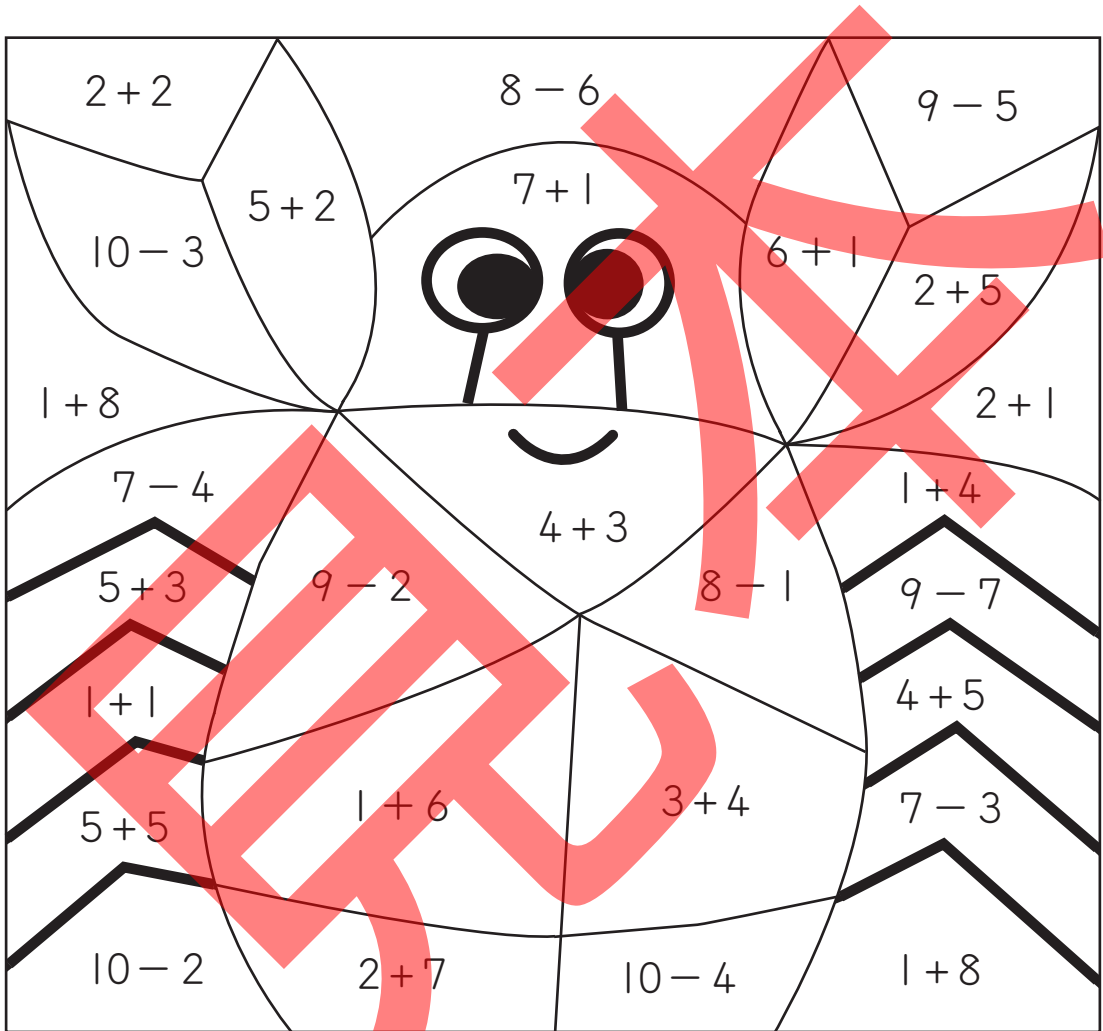
がつ

にち

ようび

なんだろうな

こたえが 7に なる ところを いろえんぴつで ぬりましょう。



かくれている いきものは

です。

あいうえおのうた

ようび

くちの かたちに きを つけて おおきな
こえて なんかいも よみましょう。

にち

あさひが あかるい あいうえお

がつ

かえるの かけっこ かきくけこ

さるくん さそって さしすせそ

たこあげ たかいぞ たちつと

ならんだ ながぐつ なにぬねの



じぶんで ◎や ○を つけましょう。

◎よく できた ○できた

くちの かたちに きを つけて よみましたか。

おおきな こえて よみましたか。

なんかい よみましたか。

かい		

はなびが はなやか はひふへほ



まんげつ まんまる まみむめも



やぎさん やまみち やいゆえよ

らくだも らんらん らりるれろ



わははは わらうよ わいうえを ん

がつ

にち

ようび

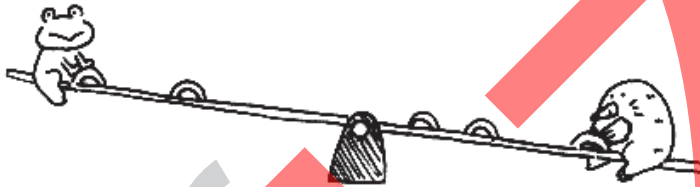
ふえたり

へったり

えをみて に すうじを かきましょう。

5 ひきで なかよく

あそんで
いました。



3 ひき かえたので
のこりは

ひきに

なりました。

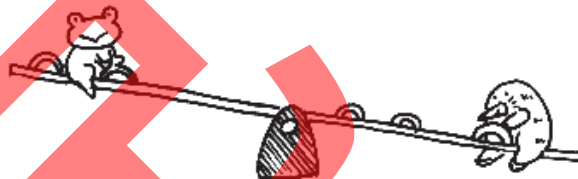
そこへ

5 ひき きたので

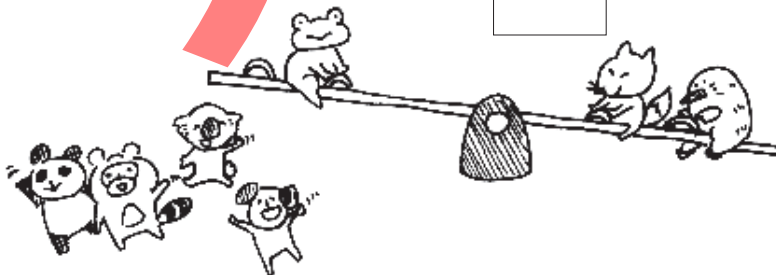
あわせて

ひきに

なりました。



4 ひき かえたので のこりは ひきに なりました。



ただしいのはどれ

ただしく かかれて いる ほうに ○を
つけましょう。

ようび

(1)

① (

(おとうとが おおきく くちを あけます。

② (

(おとうとが おうきく くちを あけます。

にち

(2)

① (

(はたしは はしるのが はやい。

② (

(わたしは はしるのが はやい。

がつ

(3)

① (

(へやえ おもちやを もつて いく。

② (

(へやへ おもちやを もつて いく。

(4)

① (

(はとは しょつきを つついた。

② (

(はとは しょつきを つついた。



(5)

① (

(にちようびに ゆうえんちへ いく。

② (

(にちようびに ゆうえんちえ いく。

(6)

① (

(おにいさんわ へきへ いく。

② (

(おにいさんは えきへ いく。

(7)

① (

(おとうさんが ほおきで そおじを する。

② (

(おとうさんが ほうきで そうじを する。

(8)

① (

(あるまじろわ みお まもる。

② (

(あるまじろは みを まもる。



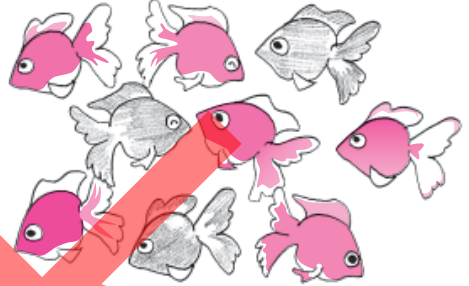
がつ

にち

ようび

たしかめよう

- 1 あかい きんぎょが 6ぴき、
くろい きんぎょが 3ぴき
います。あわせて なんびき
ですか。



しき

こたえ

ひき

- 2 ひよこが 4わ うまれました。さらに 3わ うまれま
した。ぜんぶで なんわに なりましたか。



しき

こたえ

わ

- 3 おにぎりが 8こ あります。3こ たべると、のこりは
なんこですか。



しき

こたえ

こ

- 4 はこの なかに くじが 9まい あります。3まい
ひいたら、のこりは なんまいですか。



しき

こたえ

まい

なんばんめ



1 みぎの えを みて こたえましょう。

(1) くまは うえから ばんめです。

(2) とりは したから ばんめです。

(3) うえから 2ばんめは です。

2 したの えを みて こたえましょう。



りんご



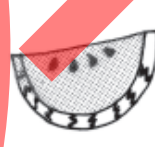
ピーマン



たまねぎ



しいたけ



すいか



ぶどう

(1) すいかは みぎから ばんめです。

(2) たまねぎは ひだりから ばんめです。

(3) みぎから 3ばんめは です。

3 いろを ぬりましょう。

(1) まえから 3だい

まえ

うしろ



(2) うしろから 4だいいめ

まえ

うしろ



がつ

にち

ようび

おおきなハズ

よんでみよう

くちの かたちや くぎりに
はつきりと よみましょう。
きを つけて



一 はやくちことば...できるだけ
はやく

三きゆう さん
・すももも ももも ももの うち
・なまむぎ なまごめ なまたまご

二きゆう に
・となりの きやくは よく かき
くう きやくだ

一きゆう いっ
・ぼうずが びょうぶに
じょうずに ぼうずの
えを かいた



二 さかさことば...うえからも したからも
よんで みよう。

三きゆう さん
・やおや ・とまと ・きつつき
・しんぶんし ・るすにする

一きゆう に
・たいやき やいた
・やすい いすや
・アニマル マニア

一きゆう いっ
・わたし まけましたわ
・にわとりと ことりと わに
・やくに たったに くや
・イカの ダンスは すんだのかい

☆きいてくれた ひとに つけて もらいましょう。

◎よく できた ○できた

ただしく	おおきな こえで よめましたか。
よめましたか。	



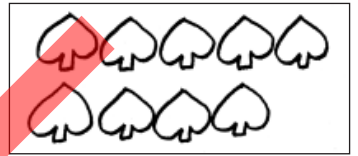
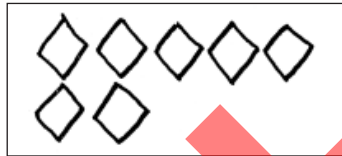
がつ

にち

ようび

10までのかず

1 おなじ かずを —で つなぎましょう。



9

10

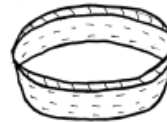
7

2 □に あてはまる かずを かきましよう。

(1) さかなの かず



(2) みかんの かず



3 おおきい ほうに ○を つけましよう。

(1)

8 9

() ()

(2)

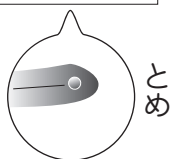
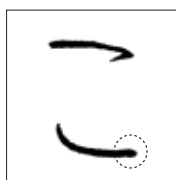
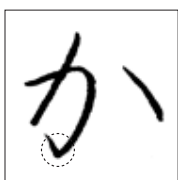
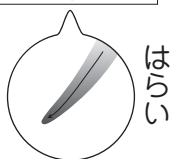
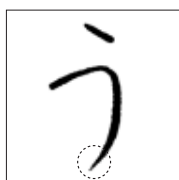
10 6

() ()

がつ

にち

ようび



かくの
おわり

かくの おわりに きを
つけて かきましよう。

うえの もじを
なぞって から かこう



「や」「の」「て」「ん」

②

えをみて、
ひらがなを
かいて
なぞりましょう。



の なかに あてはまる

ようび



(1)

か
い
ら

にち



(3)

ん

がつ



(5)

は
な



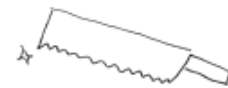
(7)

う
き
ん



(9)

は
ん
あ



(2)

の
こ
り



(4)

え
ん
っ



(6)

れ
す



(8)

す
と



(10)

り
ん

たのしい あそびが いっぱい



しゃぼんだま

いろいろな どうぐを つかって
しゃぼんだまを つくって みよう！

【つかう どうぐ】

- ・ストロー
- ・だんボール
- ・トイレットペーパー
- の しん
- ・ぎゅうにゅうパック
- ・うちわの ほね



〔しゃぼんだまえきの ざいりょう〕

- ・ちゅうせいせんざい
 - ・みず
 - ・せんたくのり
- (おうちの ひとと そうだんして つくろう)

みずでっぼう

マヨネーズなどの ようきを つ
かって みずでっぼうを つくって
みよう！

【つかう どうぐ】

- ・マヨネーズなどの
ようき

★ゆせいペンで えを
かいたり、ビニール
テープで かざったり
してみよう。



〔きを つける こと〕

- ・ぬれても よい ふくそうで あそ
ぼう。

こおりの たまご

みずふうせんを こおらせて こお
りの たまごを つくって みよう！

【つかう どうぐ】

- ・みずふうせん
- ★ちいさい おもちゃ
(ビーズや おはじ
きなど) を いれる
と きれいだよ。



〔きを つける こと〕

- ・みずふうせんは くちを しっかり
しばってから こおらせよう。
- ・おもちゃを ぐりに いれると
みずふうせんが やぶれてしまうよ。

いろみず あそび

いろいろな いろの いろみずを
つくってみよう！

【つかう どうぐ】

- ・ペットボトル
- ・はなびら

★いろがみや えのぐ
でも つくる こと
が できるよ。



〔きを つける こと〕

- ・いろみずは くちに いれては
いけません。
- ・よごれても よい ふくそうで
あそぼう。



NHK for School
すたあと
「しゃぼんだまをつくろう」の
どうがを みてみよう！



NHK for School
すたあと
「いろみずけんきゅうじょ」の
どうがを みてみよう！

がつ

にち

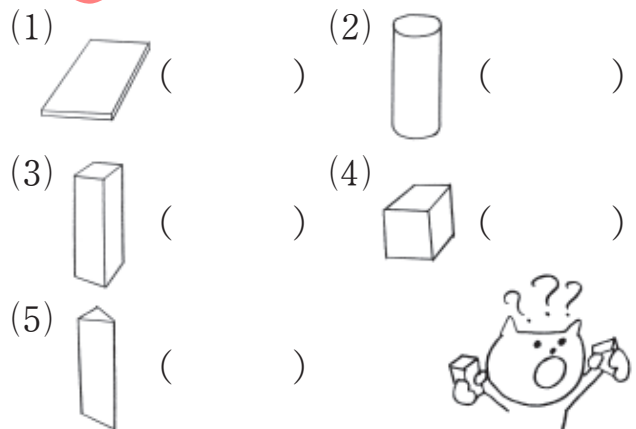
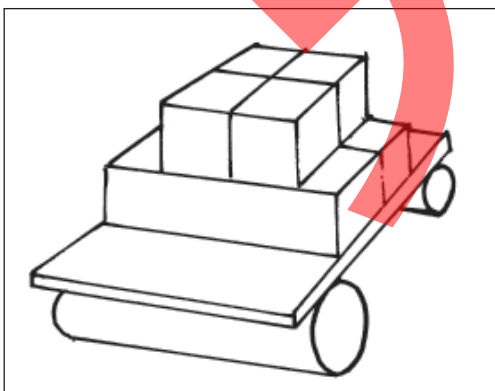
ようび

にているかたち

1 ひだりの かたち に いちばん よく にている ものを
○で かこみましょう。



2 つみきを つかって したの かたちを つくりました。
つかった つみにに ○を つけましょう。



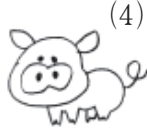
がつ

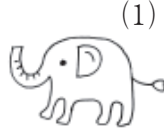
にち

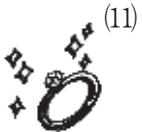
ようび

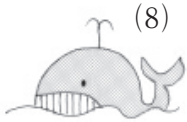












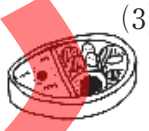












◆えをみて、「や」「の」「く」ことばをひらがなでかきましょう。

「や」「の」「く」ことば③

がつ

にち

ようび

10はいくつといくつ

1 さるくんが 10こ おはじきを もって います。さるくんの
にぎっている てには いくつ おはじきが ありますか。

(1)



つ

(2)



つ

(3)



つ

(4)



つ

2 10に なるように ○に いろを ぬりましょう。()に
かずも かきましょう。

(1)

●●●●

と

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

4
と ()

(2)

●●●●●●●

と

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

7
と ()

(3)

●●

と

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

2
と ()

(4)

●

と

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

1
と ()

(5)

●●●

と

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

3
と ()

(6)

●●●●●

と

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

5
と ()

がつ

にち

ようび

(5)

お

さま



(4)

おね

さん



(3)

おに

さん



(2)

おか

さん



(1)

おと

さん



の
ば
す
お
ん

(10)

れ

ぞ

こ



(9)

と
け



(8)

お

か
み



(7)

ほ

き



(6)

ふ

せん



あてはまる ひらがなを かきましよう。

のばす おんに きを つけて、
に

たのしいなぞなぞ

かき、おおきな こえて よみましょう。
 に あてはまる たのしい もじを

ようび

(1)

ぼく

は・わ

え・へ

き

え・へ

おじいさん

お・を

むか

え・へ

に

いきました。

(2)

おと

う・お

とと

え・へ

いが

お・を

みて、

え・へ

か

え・へ

り

りました。

にち

(3)

とけ

い・え

をみたら

う・お

そ

じの

じかんだったので、

お・う

とと

がつ

(4)

と

う・お

くの

お

う・お

きな

お・を

しろに

お

う・お

じさまが

います。

(5)

たし

は・わ

、

は・わ

か

は・わ

いい

ぼ

う・お

し

お・を

もって、

え・へ

んそく

え・へ

え・へ

でかけました。

きれいに しました。



がつ

にち

ようび

たしざんとひきざん ①

カードの うらに こたえを かきましょう。

おもて

うら

おもて

うら

(1)

$$8 + 2$$

(2)

$$4 - 1$$

(3)

$$4 + 3$$

(4)

$$9 - 5$$

(5)

$$2 + 1$$

(6)

$$6 - 4$$

(7)

$$6 + 4$$

(8)

$$9 - 8$$

(9)

$$9 + 1$$

(10)

$$5 - 2$$

(11)

$$5 + 4$$

(12)

$$7 - 3$$

(13)

$$7 + 2$$

(14)

$$8 - 4$$

(15)

$$3 + 5$$

(16)

$$3 - 2$$

(17)

$$1 + 4$$

(18)

$$2 - 1$$

がつ

にち

ようび

ことばで りずむ



いちご



すいか



ばなな



めろん



えびふらい



かきごおり



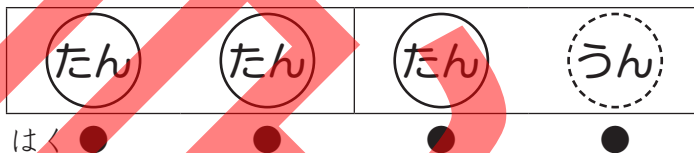
さくらんぼ



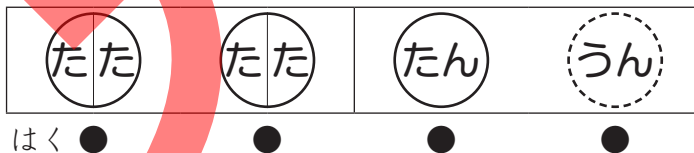
おむらいす

♪ことばに あわせて、㉔と ㉕の りずむを てで うちましょう。

㉔ 3 もじの ことば
《れい》 す い か



㉕ 5 もじの ことば
《れい》 か き ご お り



♪きいて くれた ひとに つけて もらいましょう。

◎よく できた ○できた

りずむに のって たのしく てびょうしが できた。

えらんだ ことばに あわせて ただしく てびょうしが できた。

がつ

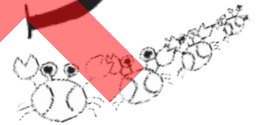
にち

ようび

ぶんを

つくろ

えをみてぶんをつくりましょう。



(5)

きつね

が

(4)

とり

が

(3)

さる

が

(2)

いぬ

が

(1)

ねこ

が

(れい)

うさぎ

が

はねる。

がつ

にち

ようび



でんしゃ (7)



しやしん (5)



きんぎょ (3)



やきゅう (1)

ちいさくかくじ



かいじゅう (8)



べんきょう (6)



にゅうがく (4)



じゃんけん (2)

ちいさく かく じも おおきく かい
て あります。ただしく かきましよう。

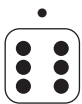
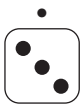
がつ

にち

ようび



1 うえの ・ と したの ・ を — で つないで 7 に
しましょう。



2 いくつと いくつですか。えを みて こたえましょう。

(1)



6 は

と

(2)



9 は

と

3 あと なんこで 10 こに なりますか。

(1)



あと

こ

(2)



あと

こ

4 あと なんびきで 10 びきに なりますか。

(1)



あと

びき

(2)



あと

びき

金色のサクラ



ようび

にち

がつ

「いったいいつになつたら、いくさは

おわるものか。」

「寺の本どうも、やけおちたままだ。本
にかなしいのう。」

「ほとけさまも おられないのでは、あんし

んして くらすことが できん。」

三河の国、今村の、田んぼ道で、専超寺の

真良さんが、村人たちと話して います。

長い いくさで、だれもが こまりはて、

ためいきばかり ついて いました。

いっこくも 早く 村の人びとの ために、

新しい お寺を たてよう。そして、ほとけ

さまを おむかえしよう。真良さんは、そう

かたく 心に きめました。

「どうか、本どうを たてるために、お力を

かして くだされ。」

それから、あちこちの 村に 真良さんの

すがたが ありました。

雨の日も、風の日も、真良さんは 頭を
下げて、たのみつづけました。

その ねっしんさに 心を うたれ、村人
たちも 少しずつ うごきはじめました。

だんだん お金も あつまり、やがて、お寺
を たてる日が きました。

「おい、あれは 何じゃ。」

大きな 声が しました。村人たちが、くわ

や すきを もって、地めんを ならそうと、

あつまつた 時の ことです。

村人の ゆびさした ところを 見ると、

土が 少し もり上がって います。しかも、

ぼうつと 光つて いるのです。

「ふしぎな ものが うまつて いるぞ。」

おそろおそろ、一人が ほりはじめました。

ほるたびに、まぶしく なって いきます。

カチツと、何かに 当たる 音が しまし

た。

「おお。これは ほとけさまだあ。」

ようび

にち

がつ

真良さん^{しんりやう}が かけより^{みず}ました。水で あ
らって あげると、やさしい お顔^{かお}が あら
われました。

「ありがたいことじゃ。新しい^{あた} お寺^{てら}に
自分^{じぶん}の ほうから 来て^きくださった。」
みんな、うれしそうに うなずきました。

秋^{あき}が 来て、冬^{ふゆ}が すぎ、春^{はる}と なりまし
た。

りっぱに できあがった 本^{ほん}どうを 見上^{みあ}
げながら、真良さん^{しんりやう}が 言^いいました。

「ほとけさまが 出^でてこられた、ありがたい
ところを だいじに したいものだのう。」
「だれかが ふまないように、目^めじるしに
なるものを うえたら どうだろう。」

「何が よいかのう。」

それで、一本^{いっぽん}の サクラ^{さくら}の 木^きを うえる

ことに しました。

村人^{むらびと}たちは、ほとけさまに おまいりする
たびに、この 木^きにも 手^てを 合^あわせました。

一年^{いちねん}が たちました。また 春^{はる}が 来^きて、
サクラの 花^{はな}が さきはじめました。

「おお、あの 花^{はな}の 色^{いろ}は……。」

「金色^{きんいろ}だ。まるで 光^{ひか}って いる みたいだ。」

「ほとけさまの 光^{ひかり}のようじゃ。」

あつまって きた 村人^{むらびと}たちは、金色^{きんいろ}に

かがやく サクラに うっとりしました。

「これから、何^{なに}か いいことが あるような

気^きが するのう。」

「今年は、きつと 米^{こめ}も 麦^{むぎ}も ほう作^{さく}に

なるに ちがいない。」

「さつそく、お花見^{はなみ}を しようじゃないか。」

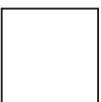
金色^{きんいろ}の サクラの 花^{はな}の 下^{した}で 村人^{むらびと}たち

の 明^{あか}るい わらい声^{こえ}が つづきました。

(おはなし あいちのでんせつ5

『目^めかくしされた サル』愛知県教育振興会より)

●よみおわったら したの□に ○を
かきましよう。



がつ

にち

ようび

かすのおてがみ

せんせいに おてがみが とどきました。けいさんを して
したの「こたえの もじ」を いれましょう。

ぼくは、どようびの よるに

2+1	4+6	8-6	2+2	3+2	4+3	9-4
は						

に いきました。

おおきくて とても きれいでした。

ゆうすけ より



わたしは、おまつりで

9-2	5+3	2-1	7+2	2+4

を たべました。

とても おいしかったです。

さやか より

「こたえの もじ」

1	2	3	4	5
ご	び	は	た	い
6	7	8	9	10
り	か	き	お	な

おなじ「こたえの もじ」を
2かい つかう ことも あるよ。

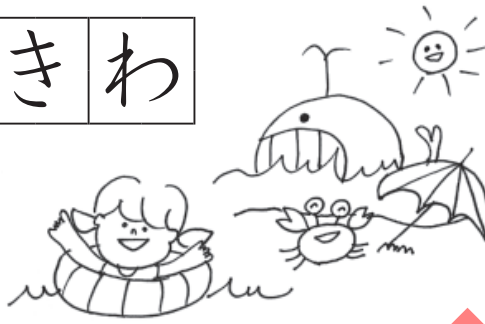


がつ

にち

ようび

	き	わ
み		



ことばあそび



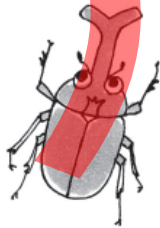
あ



		こ		
		こ		

り

い
い



ぶ
し

ぼ



ひらがなをかきましょう。

えをみて に あてはまる

--

がつ

にち

ようび



す



し





う



ね





ち



く





い





えをみてしりとりをしましょう。

ぜんぶ
できたかな。



がつ

にち

ようび



□に あてはまる かずを かきましょう。

10
8 と 2

4
1 と 3

10
4 と 6

(1) □
4 と 3

(2) □
2 と 1

(3) □
9 と 1

(4) □
5 と 4

(5) 7
2 と □

(6) 5
3 と □

(7) 4
1 と □

(8) 6
4 と □

(9) 9
□ と 8

(10) 7
□ と 3

(11) 8
□ と 4

(12) 3
□ と 1

ことばあそび



ようび

えをみて
かきましよう。



に
あてはまる
ひらがなを

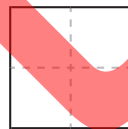
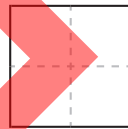
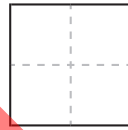
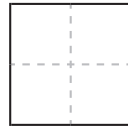
かけたら



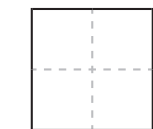
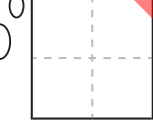
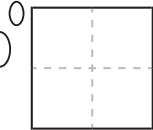
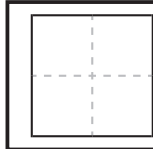
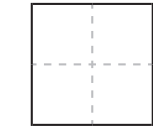
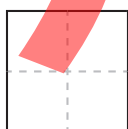
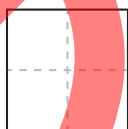
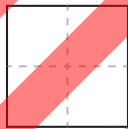
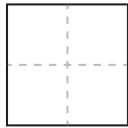
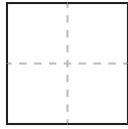
で
かこまれた
ところを

ひだりから
じゅんばんに
よんで
みましよう。

にち



がつ



ひんと

だいたい
いろいろの
あま
ずっぱい
くだもの

ひんと

はな
びや
きんぎ
よす
くい
など
が
たの
しめる
この
きせ
つの
ぎ
よう
じ

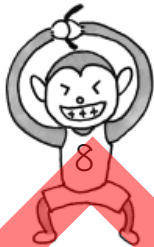
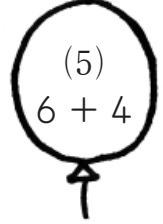
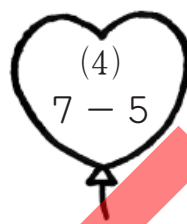
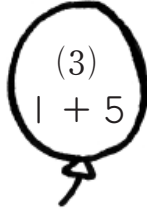
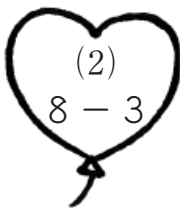
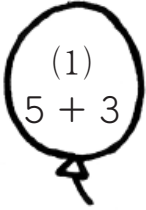
がつ

にち

ようび

たしざんとひきざん ②

1 しきと こたえが あうものを せんで おすびましょう。



2 つぎの けいさんを しましょう。

$$4 - 3$$

$$5 + 1$$

$$7 - 4$$

$$4 + 4$$

$$6 - 3$$

$$2 + 5$$

$$8 + 2$$

$$1 + 1$$

$$9 - 7$$

$$3 + 3$$

$$6 + 2$$

$$6 - 1$$

$$5 - 4$$

$$7 + 3$$

$$8 - 5$$

がつ

にち

ようび

なつとなかよし

たのしい なつやすみです。

あなたは なつと なかよく して
いますか。

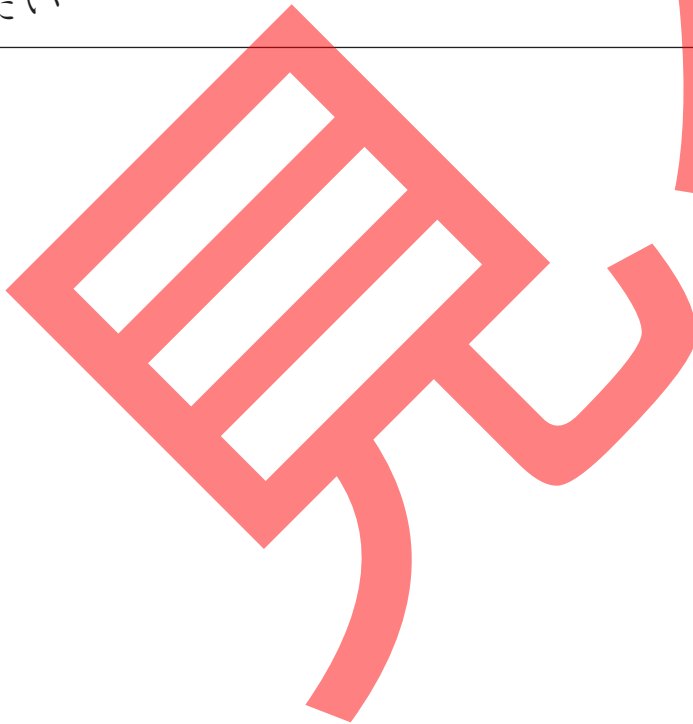
したことを えで かきましょう。



だい おしとりを したよ



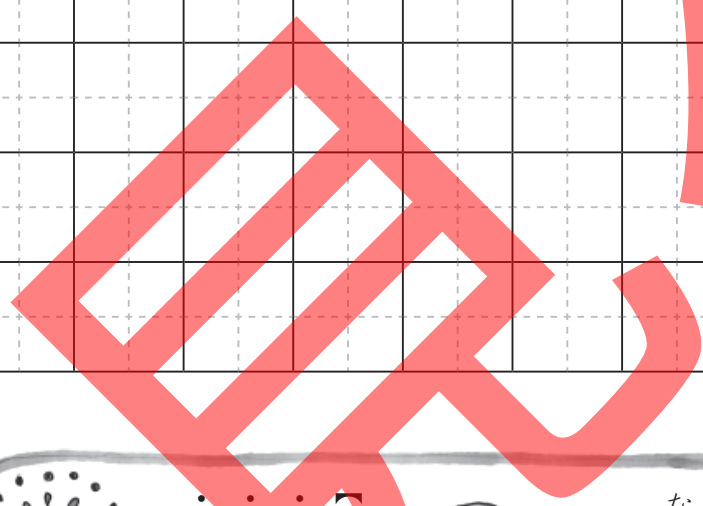
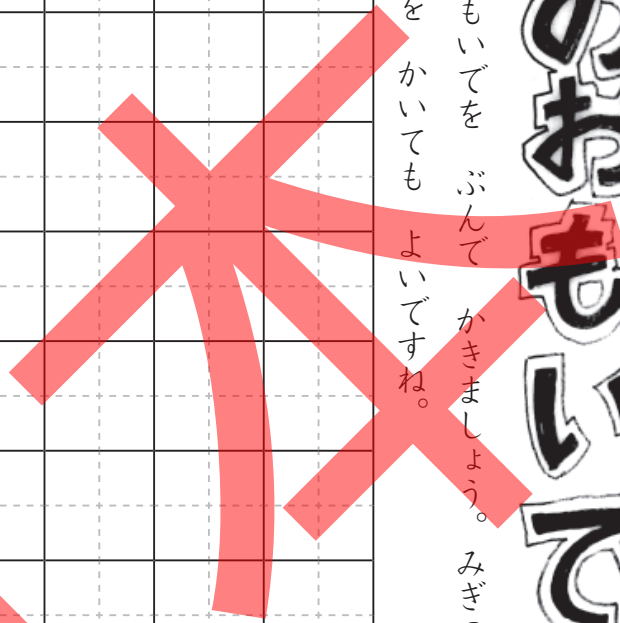
だい





なつのおもいで

なつやすみのおもいでをぶんでかきましよう。みぎのページに
かいたえのことも書いてもよいですね。



かきかた

【どんなことをしたかな】

- わたしは、○○をしました。
 - ぼくは、○○へいきました。
- など



【どうおもったかな】

- たのしかったです。
- うれしかったです。
- くやしかったです。

など



なつやすみを ふりかえって

なつやすみの せいかつの ようすを ふりかえって みま
しょう。◎ ○ △を □の なかに かきましよう。

よく できた…◎ まあまあ できた…○ あまり できなかった…△

1 はやおきが できましたか。

2 あさごはんを たべましたか。

☐

☐


3 ^{げえむ}ゲームや ^{たぶれっと}タブレットなど

4 はやく ねましたか。

の やくそくを まもれましたか。

☐

☐


さいたよ

わたしのあさがお

北設楽 豊根小・一

おくやま すずか

あさがおのたねをうえたよ

あさがおのたねは 石みたい

さわったら つるつる 気持ちいい

小さくて かわいいよ

めがでたよ

ハートみたいなかたち

ピンクいろのところもあるよ

おおきなはっぱも生えてきたよ

つるがのびたよ

どこまでのびるかな

あしたはもつとのびているかな

うれしいな どんどのびろ

つぼみができたよ

もうすぐさくかな

ロケットみたいなかたちだな

いつさこうか かんがえているのかな

なつ休み

はじめて花が さいたよ

一つだけ ぱかっと さいたよ

白いろの花

うれしいな

つぎの日

二つさいたよ

そのつぎの日も

二つさいたよ

こんどは ちがういろの花

赤むらさきいろとむらさきいろ

どれもきれいだな

こんどはいっぱいさいたよ

きれいにさいたよ

花がしぼんだら とっておくんだ

これでジュースやさんをやるんだ

たねができるのがたのしみだな

たねができたよ

はじめはみどりいろだったけれど

ちやいろになったよ

中を見てみたら

へやが四つあったよ

たねが二つずつ入っていたよ

わたしがうえた たねといっしょ

このたねは らい年の一年生に

あげるんだ

きれいな花をさかせてね





なまえ

令和8年度版な：つ）やg d”} 1年

編集 「夏休み日誌」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人
愛知教育文化振興会

電話（0564）51-4819

印刷 株式会社岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。
※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。